ひらつか市民活動センター情報紙

No.53号
2026年11月号
（令和８年）

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

あったかひらつか

CONTENTS

P.1 …… 平塚市情報
P.2 ……センターレポート「協働事業の振り返りと成果共有会」
P.3 ……センターレポート「防災座談会」
P.4 ……センター情報・平塚市情報

センターレポート

「協働事業の振り返りと成果共有会」
～協働のこれまでとこれから：新たな一歩を共に踏み出すために～



平塚市情報

令和９年度 市民活動推進補助金の募集開始・応募説明会の開催

令和９年度補助金活用事業の募集を開始します。
詳しくは下記の市ウェブサイトを御覧ください。また、「応募の手引き」は平塚市役所（協働推進課）、ひらつか市民活動センターでも配布しています。

こちらからもご覧ください

募集期間●令和８年(2026年) 11月13日(金)～令和９年(2027年) 1月26日(火)
応募説明日時・場所●令和８年(2026年) 12月12日(土) 10:00～　ひらつか市民活動センター

お問い合わせ▶平塚市役所協働推進課　市民協働担当　　電話▶0463－21－9618
(http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00016.html)

●ひらつか市民活動センターのホームページをぜひご活用ください!!

センターから発信する様々な報告・情報を右記の二次元コードから見られます。

センター情報　助成金情報　団体イベント情報　センター開催報告

センターレポート

『協働事業の振り返りと成果共有会』

～協働のこれまでとこれから：新たな一歩を共に踏み出すために～



平塚市では、平成21年より、行政とNPOとの協働を推進するため「提案型協働事業制度」が始まりました。17年が経過した今、これまでどのような協働事業が行われ、どのような成果が生まれたのか、また、どのような課題があるのかを関係する皆さんと振り返り、今後の協働について考える「協働事業の振り返りと成果共有会」を、８月28日（金）午後に開催しました。

当日は、市民活動団体、平塚市職員、他市町の関係者など、36名の皆さんにご参加いただきました。

第１部　提案型協働事業　事例紹介と成果の共有

協働事業とは、市民活動団体と行政が協働で行う公益的な事業です。それぞれが単独で事業を実施するのではなく、お互いの得意分野を活かし、協力・連携して取り組むことで、より効果的な事業が期待できます（平塚市ホームページより）。

第１部では、これまでに協働事業を実施した６団体から、事業の背景、実施に向けた工夫、具体的な成果、今後の協働に向けた提案などをご報告いただきました。



▲後半のグループワークでは活発な意見交換が行われました

認定NPO法人フードバンク湘南の事例発表▶



▼前半はこれまでの協働事業を振り返りました





■報告団体 × 担当課

1. NPO法人 平塚のら猫を減らす会 × 環境部環境政策課
2. NPO法人 ぜんしん × 平塚市社会教育部中央図書館、健康・こども部青少年課
3. 認定NPO法人 フードバンク湘南 × 環境部環境政策課
4. ひらつか着地型観光推進委員会 × 産業振興部商業観光課
5. ひらつか市民活動連絡協議会
   ①平塚花のまちづくりの会 × 市民部協働推進課
   ②平塚ユニバーサルデザインプロジェクト × 市民部協働推進課、健康・こども部こども家庭課

■参加者からのご意見ご提案

- 提案しやすい窓口やプラットフォームの設置
- 行政の目線にはない課題を共有する場づくり
- 市民活動への参加と評価の仕組みづくり
- 対話しやすい場づくり
- 団体の声を聞き、それを行政につなげる力が必要
- 人事異動があっても、ある程度の柔軟性を維持してほしい
- クライアントからパートナーへ、地域と行政の意識転換
- 事業評価の方法を定める（アウトプットとアウトカムの見極め）ほか

■参加者アンケートから（一部抜粋）

- これまでのさまざまな事例を知ることができ、とても良い機会だった。当事者の生の声を聞き、とても勉強になった。
- 行政職員が市民活動や協働事業について知ることの大切さを感じた。
- 市民活動団体だけでなく、行政職員や地域の自治体の方も幅広く参加していて良かったと思います。
- 協働事業を促進していくためには、制度の見直しも必要かもしれないが、本日のような機会を定期的に設け、協働の仕組みや価値を共有していくことも有効ではないかと感じた。

第２部　平塚市協働推進課からの報告＆参加者との意見交換

平塚市市民部協働推進課市民協働担当から、これまでの協働事業の実績と現状の課題について説明がありました。

その後、グループに分かれ、今後の協働について意見交換を行いました。立場を越えて意見を交わすことは、協働の第一歩となる「対話の場」です。紙面では紹介しきれないほど、たくさんのご意見やご提案が寄せられました。

■「協働のための地域」から、「地域のための協働」へ

これまでの「協働」は、行政と市民活動団体が一緒に事業を行うことを中心に発展してきました。これからは、協働という枠組みに合わせて地域を動かすのではなく、「地域をよりよくするために、誰と、何を、どのように行うのか」という視点から、それぞれの主体の役割やつながり方を考えていくことが必要ではないでしょうか。(サ)

センターレポート

第６回 防災座談会

土砂　洪水　大雨　液状化　火災　津波　台風　地震

～市民活動×防災 つながりでつくる災害に強いまち平塚を目指して～

センターが毎年実施している「市民活動団体の現状に関するアンケート調査」では、「災害時に自分たちの活動を活かせるのではないか」という声が多く寄せられています。こうした声を受け、「災害時に備えた平時からのつながりづくり」をテーマに、９月30日（水）に防災座談会を開催しました。

■話題提供

1 災害時に行政が担うこと・担えないこと：平塚市災害対策課　大平 啓太氏



災害時に行政が担う支援を「公助」といいます。行政は災害対策基本法に基づき、被災した人の生命や生活を守る役割を担っています。制度に基づいて公平に支援を行う一方、被災した人の状況や困りごとは一人ひとり異なるため、きめ細かな支援には限界があります。

しかし、「行政にできない」ことが「行政の仕事ではない」というわけではありません。多様な支援を行う団体や機関とつながり、それぞれの強みを活かして協力できるよう、関係者をつなぐことも重要です。ボランティアや応援の受け入れ・調整も、行政の大きな役割の一つです。

2 東日本大震災における福島県富岡町での経験から：平塚市災害対策課　香中 峰秋氏



福島県双葉郡富岡町役場への出向や、富岡町のまちづくりに携わる中間支援会社での経験をお話しいただきました。

富岡町では、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、町民全員が町外への避難を余儀なくされました。長期化した避難生活では地域のつながりが分断され、同じ年代や立場の人でも、体を動かしたい、本を読みたい、誰かと話したいなど、必要な支援は異なります。多様なニーズに応えるには、さまざまな団体が得意分野を活かし、協力することが大切です。

3 被災者支援の現場に起こりうる困りごと：平塚市社会福祉協議会　芦川 好宏氏



災害によって市民の力だけでは復旧・復興が困難な被害が生じた場合、平塚市社会福祉協議会と平塚市が協議の上、「災害ボランティアセンター（以下、災害VC）」が立ち上がります。災害VCは、被災者の困りごとを把握し、ボランティアの派遣や関係団体との連携を通じて、被災者とボランティアをつなぎます。

被災した人の中には、周囲に遠慮して支援を求められない人もいます。ボランティアには、復旧・復興作業だけでなく、心のケアなども求められます。各団体が持つ知識や経験、日頃の活動で培った力を活かしてほしいと呼びかけました。



▲グループ交流の様子

■団体交流

昨年度のアンケートでは、169団体のうち61団体から「災害時に備えた連携・協力ができそう」と回答がありました。そのうち、具体的な協力内容を寄せていただいた41団体の平時の活動と災害時の協力内容をまとめた冊子を配布しました。

参加者は、他団体の取り組みを参考に、災害時に起こりうる困りごとや地域で取り組みたいことを話し合いました。避難所に関する疑問や、地域の冠水が心配される箇所への不安のほか、避難が難しい方や配慮が必要な方への支援方法を知りたいという声があがりました。また、顔の見える関係づくりや平時からの交流、専門的な知識を持つ団体とのつながりの重要性についても意見が交わされました。



■おわりに

平塚市災害対策課の岡崎課長からは、災害発生後72時間は命を守る行動が重要であること、市だけですべての市民を個別に支援することは難しく、団体同士の協力や連携が欠かせないことが伝えられました。

ひらつか市民活動センターでは、災害時に限らず、平時から団体同士がつながり、互いの活動を知り、協力し合える関係づくりを今後も進めていきます。

センター情報

●団体活動にお役立てください！

第20回 ひらつか市民活動センターまつり「来て！見て！知って！市民活動」



市民活動団体の皆さんが出展するブースやパフォーマンスは楽しい企画がいっぱい！
SOZENマーチングバンドの演奏や市民活動推進月間企画の写真展・PR展も開催しています。

日時●11月29日(日) 10:00～15:00
会場●ひらつか市民活動センター、崇善公民館
出展団体●延べ54団体
出展内容●展示・相談・体験・パフォーマンス・物販、他　　参加費●無料

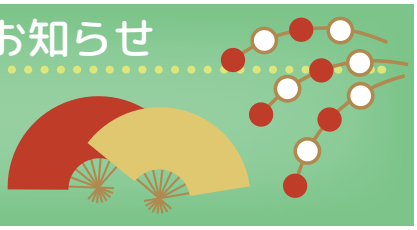
令和８年度　第６回支援者間交流会　～多角的な視点から解決方法を探る～「あきらめない支援の進め方」



お互いが顔の見える関係を築き、多機関のつながり、ネットワーク形成の一助として開催します。
講師からは活動のお話や具体的な事例を聞き、多機関連携のヒントを探ります。

日時●1月29日(金) 13:30～16:00（受付開始13:00～）
講師●特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター　センター長・副理事長 佐塚 玲子氏
会場●ひらつか市民活動センター会議室AB
対象●平塚市内の介護事業所・地域包括支援センター・相談支援機関（高齢・障がい・子ども等）、NPO団体、ボランティアグループ、地域の福祉関係者等、行政職員
定員●50名（先着順 / 要申込 / 参加費無料）

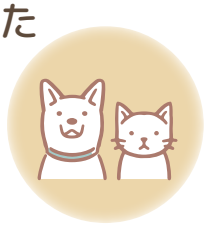
●年末年始センターのご利用についてのお知らせ



閉館日◆12月28日(月)～1月4日(月)
新年開館日◆年始は1月5日(火)より開館いたします。
会議室の予約について◆令和9年3月28日(日)～4月4日(日)の予約は令和8年12月27日(日)から受け付けます。

平塚市情報

●令和８年度実施協働事業の中間ヒアリングを実施しました



令和８年度に実施している提案型協働事業の中間ヒアリングを10月８日（木）に開催しました。今回は市民提案型協働事業の継続事業である「多頭飼育崩壊等の不適切飼育防止の取り組み事業」の中間ヒアリングが行われました。

実施団体名●WAN'S LIFE湘南里親、NPO法人平塚のら猫を減らす会
担当課●環境保全課

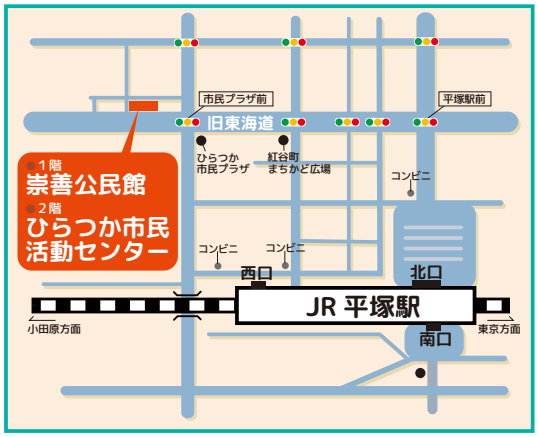
進捗状況は順調で、審査員からは意見・助言を受ける、良い機会となりました。協働推進課では、提案型協働事業に挑戦したい市民活動団体を募集しています。お問合せや御相談等、お待ちしております。

お問い合わせ▶平塚市役所協働推進課　市民協働担当
電話▶0463－21－9618

編集後記



11月は「ひらつか市民活動推進月間」としてセンターや市民活動に関する情報発信を強化しています。
いよいよ29日に「ひらつか市民活動センターまつり」が開催されます。50を超える団体がPRや成果披露を行います。
たくさんの団体と交流する機会にもなりますので、是非お越しください♪



編集・発行

ひらつか市民活動センター
（開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く）

〒254-0045
神奈川県平塚市見附町1-8
TEL●0463-31-7571　　FAX●0463-35-6601
Eメール●info@hiratsuka-shimin.net
URL●https://hiratsuka-shimin.net



センター登録団体数（2026年10月15日現在）
登録団体数●459団体
（内訳　市民活動団体…324団体、一般団体…135団体）